

DxO FilmPack

リリースノート

Version 6.2

Windows および macOS

必要構成

Microsoft® Windows®

- Intel® Core™ 2 または AMD Athlon™ 64 X2 以上 (Intel® Core™ i7 第 4 世代以上、AMD Ryzen™ 推奨)
- 4 GB の RAM (8GB 以上推奨)
- 400 MB 以上のハードディスク空き容量
- Microsoft® Windows® 10 バージョン 1809 以上 (64-bit、Microsoft® 社がサポートしているもの)、Windows® 10 バージョン 2004 以上推奨

Apple macOS

- Intel® Core™ i7 第 4 世代以上推奨、または Apple M1
- 4 GB の RAM (8GB 以上推奨)
- 400 MB のハードディスク空き容量
- macOS 10.15 (Catalina)、11.0 (Big Sur) または 12.0 (Monterey)

インストールとアクティブ化

- DxO FilmPack 6 はすでに DxO PhotoLab 5 に含まれています。ヘルプメニュー (PC) または DxO PhotoLab (Mac) から簡単にアクティブ化できます。
- 独立したアプリケーション、Photoshop および Lightroom のプラグインは、DxO の Web サイト (www.dxo.com) からダウンロードして適切なインストーラーを実行すると、インストールできます。

サポートしているホストアプリケーション

- DxO PhotoLab 4、5
- Adobe® Photoshop® 2019、2020、2021
- Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic 2019、2020、2021

DxO FilmPack 6.2 の新機能

- 富士フィルム製カメラのフィルムシミュレーションが 11 種類追加され、「デジタルフィルム」セクションで利用できるようになりました。
- 富士フィルムの RAW フォーマットで作業しているユーザーは、アプリケーション環境設定の専用オプションを使って、カメラで選択したフィルムシミュレーションを直接割り当てることができるようになりました。

バグの修正

- 富士フィルムのカラープロファイルは、富士フィルムのカメラで撮影した JPEG には自動的に適用されなくなりました。
 - 細かいバグを修正しました。
-

DxO FilmPack 6.1.1 の新機能

- [画像の保存]と[別名で保存]のオプションが別々になり、使いやすいようにショートカットが更新されました。

バグの修正

- Rosetta エミュレーションで Photoshop プラグインが適切に機能するようになりました
 - 2 回目の起動で FilmPack がホストアプリケーションをクラッシュさせていた問題を修正しました
 - 更新確認ウィンドウのフォントスタイルを固定しました
 - Photoshop プラグインを使う際に、ICC プロファイルが適切に考慮されるようになりました
 - 特定のケースにおいて、Lightroom Classic から画像を開いた際にアプリケーションがクラッシュする問題を修正しました
 - 画像の処理中に FilmPack アプリケーションの追加アイコンが表示されなくなりました
 - ローカライズ済みの文字列がアプリケーションで表示されていなかった問題を修正しました
 - アプリケーションの中国語版で機能していなかった Time Machine プリセットの一部のショートカットを修正しました
 - 特定のシナリオで、[画像の保存] オプションがロックされる問題を修正しました
 - 細かいバグを修正しました。
-

DxO FilmPack 6.1 の新機能

- タイムマシンプリセットを左側の専用パネルおよび全画面モードで表示されるそれぞれの出来事から適用できるようになりました。

新たにサポート対象に追加されたカメラ

- Canon EOS R3
- Fuji GFX 50S II
- Fuji X-T30 II, XF10, X-T10, X100S
- Ricoh GRIIIx
- Sony FX3

バグの修正

- プリセットが旧バージョンの FilmPack から適切に移行されました。
 - 不足していた一部の翻訳が追加されました。
 - フィルムフィルターがドロップダウンメニューにカットされなくなりました。
 - 微細なバグが修正されました。
-

DxO FilmPack 6 の新機能

- 「タイムマシン」モードの追加: 14 の時代を写真でたどってインスピレーションを受け、写真の歴史を作り上げたこれらの写真に類似した新しい 78 種類のプリセットを適用しましょう。
- 15 本のフィルムのシミュレーションを新たに追加:
Impossible PX600 Silver Shade、Kodak Ektachrome InfraRed (EIR)、富士 Classic Chrome、富士 Classic Chrome +、富士 Astia ソフト、富士 Classic Negative、富士 ProNeg Standard、富士 ProNeg High、富士 Eterna、ティールとオレンジ、彩度を下げた緑、秋、ムードのある深緑、色あせた緑とピンク、パステル。
- 20 種類のテクスチャを新たに追加:
水滴、薄い染み 1、薄い染み 2、コンクリート 1、コンクリート 2、明るいコンクリート、焦げたコーナー 1、薄い染み 3、クシャクシャの紙 (小)、布目、直線、クシャクシャの紙 (中)、染み 4、明るい木目、木目、結露、焦げたコーナー 2、染み 5、染み 6、クシャクシャの紙 (大)
- 15 種類の光漏れを新たに追加:
光漏れ 9~23
- 15 種類のフレームを新たに追加:
アナログフィルム、アナログフレアフィルム、アナログクラシックフィルム、薄い灰色のフレーム、アナログフィルム楕円形の穴、クラシックフィルムの枠、対角折り込み、すべての角折り込み、広い白の内枠フレーム、内枠フレーム、狭い白の内枠フレーム、ウッドフレーム、アナログ印字付きフィルム、古いアナログフィルム、グランジ。
- 色相/彩度/明度の補正エンジンに新たに 2 つのチャンネルを追加: オレンジと紫が既存の 6 チャンネルを補完し、色の範囲の調整精度がさらに高まります。
- 調色処理の色のパーソナライズ調色処理のハイライトとシャドウに適用する自分ならではの色パレットを作成して保存できます。
- 色相/彩度/明度ツールとチャンネルミキサー (モノクロ) のスライダーに色がつき、使いやすくなりました。
- サポート対象に新たに追加されたカメラ:
 - DJI Mavic Air
 - Fuji X-T200
 - Fuji X-A7
 - Nikon Coolpix P950
 - Olympus PEN E-PL10
 - Olympus TG-6
 - Panasonic Lumix DC GF10/GF90/GX880
 - Nikon D6
 - Canon EOS R5
 - Canon EOS R6
 - Canon EOS 850D / Rebel T8i / Kiss X10i
 - Nikon Z5
 - Olympus OM-D E-M10 Mark IV
 - Panasonic Lumix S5
 - DJI Mavic Air 2
 - Panasonic Lumix S1H
 - Sony A7C
 - Sony A7S III
 - Nikon Z6 II
 - Panasonic G100 / G110
 - Sony ZV-1 (DCZV1/B)
 - Olympus PEN E-PL9
 - Olympus PEN E-PL8
 - Nikon Z7 II
 - Canon M50 Mark II / Kiss M2
 - FujiGFX 100S
 - Hasselblad X1D II 50C
 - Sony A1
 - Leica CL
 - Leica TL2
 - Fuji X-E4
 - Fuji X-S10
 - Fuji X-T4
 - Fuji X100V
 - Fuji X-Pro3
 - Fuji X-T30
 - Fuji X-T3
 - Fuji X-H1
 - Fuji X-E3
 - Fuji X-T20
 - Fuji X100F
 - Fuji X-T2
 - Fuji X70
 - Fuji X-E2S
 - Fuji X-E2
 - Pentax K-3 III
 - DJI Air 2S
 - DJI Mini 2
 - Panasonic GH5 II
 - Fuji X-Pro2
 - Fuji X-T1
 - Fuji X100T
 - Canon EOS Ra
 - Olympus PEN E-P7
 - Sony ZV-E10
 - Nikon Z Fc